

ツツジ咲く小道で

ツツジ咲く小道の中で 小さな手を引いて
ゆっくりと進んだこの景色
何年ぶりにみただろう

今はただ大人ばかりで 通り過ぎるだけの
短い間にチラリと観賞
それも仕方ないのかな

思い出すよあの頃 石のベンチに腰掛け
おにぎりに巻かれた
アルミホイールめくって

小さな持ち手ついた 蓋付きのコップの
ストローくわえる 幼い我が子がいた

乳母車 降りた 嬉しさいっぱい抱いて
乾いた土の上 ゆっくり過ごしていた

20年近くすぎ 人は変わってしまっても
この緑の景色は 変わらない懐かしさ

廃線じきの道すぎたら コマチソウの畦道
ツツジに似たような色して
目を楽しませてくれる

そういえば故郷近くに
同じようなところあって
自転車で走りすぎたところで
祖母の家にたどり着く

白い運動靴 裏の赤い白帽
チェーンの油で 黒く汚れたジーンズ

石を避けられないで 時折転んだ
タイヤガードの歪みを
見つめながら走った

自転車 降りた 疲れを癒すように
乾いた道の上 ゆっくり歩いていた

50年近くすぎ 人は変わってしまっても
この緑の景色は 変わらない懐かしさ